

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 21日

事業所名 エイド

保護者等数(児童数) 2 回収数 1 割合 50%

	チェック項目	はい			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制 整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	100%				訓練室、ホール、園庭があり活動や個々に応じたスペースを十分確保できています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	100%				配置等は基準を満たしていますが、コロナの感染リスクを考慮した上で配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	100%				活動スペースごとの構造化、施設内全てバリアフリーとなっています。手すりは今後必要と判断した場合は設置します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	100%				清潔な空間を保つために5Sの徹底に努めています。
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%				アセスメント・モニタリング、社内での支援会議を定期的に行い、より良いサービスが提供できるように努めています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか		100%			年齢や発達段階、個人の特性に応じた支援内容を心がけ、なおかつガイドラインに沿った支援を支援計画に反映させています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				日々のミーティングで支援内容の確認をしています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか		100%			色んな意見や保護者様からのご要望も取り入れています。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%		現在はコロナの影響により行っていません。今後感染対策等を行ったうえで検討します。
保護者 への 説明 等	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				丁寧な説明を心がけ、十分ご理解いただいた上でご契約させていただきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか		100%			今後もガイドラインの理解を深め、支援内容を示していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか			100%		今後行えるように努めます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	100%				送迎時や電話、コロナ対策をした上での来所で、伝えています。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	100%				全職員でより良いサービス、支援ができるよう努めます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			100%	こんな時期だが開催してほしい。	今年からは感染対策を行い、保護者会等を開催します。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	100%				すぐに対応できるように体制整備に心がけています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	100%				写真やイラストなど視覚的にわかりやすいものを使用するなど配慮しています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				毎月通信の発行。自己評価についてはHPにて公開しています。
19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				個人情報取扱の書類は鍵付き書庫に保管、シャredding一紙分、PCや紙面のセキュリティ強化。	
非常 時 等 の 対 応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	100%				ご契約時のご説明と施設内での掲示、HPでの公開をしています。訓練は月に1回状況を変えて実施しています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	100%				
満足 度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	100%				今後も感謝の気持ちをもって全社員一丸のご支援をさせていただきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	100%				

\*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目指すこと。

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 5年 2月 21日

事業所名 エイド亀山 保護者等数(児童数) 5 回収数 2 割合 40%

	チェック項目	評価			ご意見	ご意見を踏まえた対応
		はい	どちらとも いえない	いいえ		
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	50%		50%		児発・放デイの活動スペースを分け、個々に応じた対応ができています。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	50%		50%		配置等は基準を満たしていますが、コロナの感染リスクを考慮した上で配置しています。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	50%		50%		活動スペースごとの構造化、施設内全てバリアフリーとなっています。手すりは今後必要と判断した場合は設置します。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	50%		50%		清潔な空間を保つために5Sの徹底に努めています。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画*2が作成されているか	100%				アセスメント・モニタリング、社内での支援会議を定期的に行い、より良いサービスが提供できるように努めています。
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	100%				年齢や発達段階、個人の特性に応じた支援内容を心がけ、なおかつガイドラインに沿った支援を支援計画に反映させています。
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	100%				日々のミーティングで支援内容の確認をしています。
	8 活動プログラム*3が固定化しないよう工夫されているか	100%				色んな意見や保護者様からのご要望も取り入れています。
保護者への説明等	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか			100%		現在はコロナの影響により行っていません。今後感染対策等を行ったうえで検討します。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	100%				丁寧な説明を心がけ、十分ご理解いただいた上でご契約させていただきます。
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	100%				今後もガイドラインの理解を深め、支援内容を示していきます。
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	50%		50%		今後行えるように努めます。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	50%	50%			送迎時や電話、コロナ対策をした上での来所で、伝えていきます。
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	50%		50%		全職員でより良いサービス、支援ができるよう努めます。
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか			50%	50%	今年からは感染対策を行い、保護者会等を開催します。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	50%			50%	すぐに対応できるように体制整備に心がけています。
	17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	50%			50%	写真やイラストなど視覚的にわかりやすいものを使用するなど配慮しています。
	18 定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	100%				毎月通信の発行。自己評価についてはHPにて公開しています。
	19 個人情報の取り扱いに十分注意されているか	100%				個人情報取扱の書類は厳格な管理に努め、セキュリティ強化、PCや端末のセキュリティ強化。
非常時等の対応	20 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	50%			50%	ご契約時のご説明と施設内での掲示、HPでの公開をしています。訓練は月に1回状況を変えて実施しています。
	21 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	50%			50%	
満足度	22 子どもは通所を楽しみにしているか	100%				今後も感謝の気持ちをもって全社員精一杯のご支援をさせていただきます。
	23 事業所の支援に満足しているか	50%	50%			

\*1 この部屋で何をやるのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

\*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

\*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日/休日/長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

\*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目指すこと。